

正願寺通信

●「ゆつくりと、
楽しく聞いてみよう」ご案内

●正願寺報感謝「案内」

●クイズで考える真宗基礎講座「案内」

この『正願寺通信』は、ご縁のあるごなたにもお配りします。ご希望の方はご連絡ください。



発行者:真宗大谷派 正願寺 住職 三保谷 順
〒442-0862 豊川市市田町北之坪1-1
Tel 0533-86-3659 FAX 86-3668
Mail mipomail@cream.plala.or.jp

疑謗為縁

疑謗を縁と為す

ほんまに、ほんまに、
死にとつない

今回は、仙厓和尚という高僧の言葉です。仙厓和尚は江戸時代後期、美濃国に農家の子として生まれました。11歳の頃得度し、臨済宗の僧となりました。修行の末39歳より博多の聖福寺の住職をされ、88歳で亡くなられました。軽妙な禅画で有名な方でもあります。

その仙厓和尚が亡くなる間際に、檀信徒や弟子たちから辞世の言葉を求められたのでした。すると仙厓和尚は「死

にとつない」という一言を發します。名僧の最期の言葉がこれでは困ると思つた弟子たちが、もう一度辞世の言葉を求めますと、やはり「死にとつない」という言葉が返つてきます。あわてた弟子たちが、「いえ、ご冗談ではなく、どうか本当のお言葉を」と、さらにしつこく念を押すと、仙厓和尚は、繰り返し「ほんまに、ほんまに、死にとつない」と言つたという逸話が残されております。

逸話ではありませんが、面白い話ですね。仏教の究極は、「死を潔く引き受ける」だけではないのです。「生きたい」という純粹な心を育てます。それが信心です。仙厓和

尚は、それを堂々と表現され人生を尽くしていかれました。

真宗入門

御命日のつどい「案内」

11月のテーマ

「火事だ！その時」

今回は、火災や大規模災害について考える特別企画です。お寺にお参りに来ているときに火災が起きたら」から、実際の避難、消火器使用体験、大規模災害時の非常食試食などを考えています。お寺での災害時を想定していますが、各ご家庭での防災についても大切なヒントになればと思います。非常食は豊川市が備蓄しているものを、訓練用に分けてもらいます。簡単な昼食となります。

御命日のつどいは、どなたでも気軽に御参りできる「つどい」です。今回はお数珠と勤行本だけお持ちください。日時は28日午前10時30分からで、今回は試食会もありますので、12時過ぎに終了の予定です。

行事のご案内

11月の行事

ゆつくりと、
楽しく聞いてみよう

正願寺の初めての企画として、「ゆつくりと、楽しく聞いてみよう」という法話会を開催します。今年5月に開催した『正願寺再建記念の集い』でお越しいただいた譲西賢先生を引き続きお招きします。先生には「初めて仏教の話を聞くとという方にぜひ来ていただきたいという会です」とお伝えしてあります。先生は、大学で教師として若い学生さんを相手に、ある時はカウンセラーとして苦悩する人に向かい合つてこられました。その歩みから、「大切な事を、わかりやすく楽しく」とお願ひしています。お話の中に分かりやすく聞いてもらつたため、誘う駄洒落などを交えてというお話です。



また法話終了後、自由参加ですが、場所を変えてお茶とお菓子を頂きながらの茶話会を考えています。30分ほどを予定し、出入りも自由です。先生も一緒にお茶をお飲みいただきながらフリートークという時間です。個人的に聞きたいようなことがあれば、先生の横でいろいろ聞いてみてはいかがでしょうか。

さあ、今度はお話をゆつくりと楽しく聞いてみましょう。初めての方も是非法話デビューをしてください。

日時	11月2日(土)
時間	午後1時30分から
日程	勤行・法話・先生との茶話会 (自由参加)
持ち物	念珠・



12月の行事

本堂仏具のおみがきと
境内の大掃除

本年最後の仏具のおみがきと、それにあわせ年末の大掃除を行います。汚れてもいい服装でお越しください。また、マスクの着用をお願いします。

日時は左記のとおりです。いつもより1時間遅い、10時から始めます。終了後、簡単な会食を予定しています。是非お手伝いください。

日時 12月16日(月)

午前10時から

新年1月の行事

本堂仏具のおみがき

新年1月24日・25日と勤めます報恩講のための、本堂御仏具のおみがきをします。是非お手伝いください。

◇日時 1月14日(火)

午前9時から

1時間ほど

その後、お茶とお菓子の雑談会があります。

正願寺報恩講厳修

正願寺報恩講を左記の通りお勤めいたします。

報恩講とは、一年に一度お勤めする親鸞聖人のご恩に感謝する(命日法要で、お寺での一年の行事の中で最も重要な法要です。

親鸞聖人は平安時代の末期にお生れになります。大飢饉や天災、疫病の蔓延、そして公家や武士勢力の戦という時代でした。

そのような中、親鸞聖人は9歳で得度(正式に僧侶となること)します。比叡山天台宗で20年間修業をします。その間の事はほとんどわかって

1月24日(金)

午前11時 『御俗姓』法要

午後1時 法話 自坊住職

午後1時 お齋(お食事)

午後1時 御速夜法要

法話 桜部 明師

1月25日(土)

午前11時 『御伝鈔』法要

午後1時 法話 自坊住職

午後1時 お齋(お食事)

午後1時 御満座法要

法話 戸松憲仁師

いけません。そして29歳の時、修行に挫折し、法然上人にお会いになります。お念仏の教えによつて、自らの生き方が定まります。35歳の時、理不尽な朝廷の裁判により、越後の(新潟県)に流罪となります。罪が許されて40歳から20年ほどの間、関東で布教をします。

多くのお同行が生まれました。60才になられる頃、関東を離れ京都に戻られます。お亡くなりになる間際まで積極的な執筆活動をされ、多くの念仏者が誕生しました。そして末娘の覚信尼に看取られながら、90年の生涯を閉じられました。

本山東本願寺では、親鸞聖人が亡くなられた11月28日を御満座として七昼夜(8日間)報恩講が勤まります。正願寺では2日間の午前・午後の御法要です。2日とも正午より御齋(仏事としての食事)があります。正願寺にご縁のある方は、必ずお参りいただきますよう御案内申し上げます。

またこの御法要はお志をお受けいたします。

その他のご案内

『クイズで考える』

真宗基礎講座

岡崎教区第四組(豊橋市・豊川市・新城市にある17カ寺のグループ)では、多くのの人に浄土真宗に親しんでもらおうと、『クイズで考える真宗基礎講座』という講座を企画しました。第四組の若いお寺さんたちが取り組んでいます。

来年の2月から6月の月末、土曜日の夕刻の5回の講座です。クイズ番組のようなことを考えています。初めて浄土真宗に触れる方から教えを聞き始めて欲しい方まで、楽しく学べる講座を目指しています。お寺にチラシがあります。どうぞお気軽にお申し込みください。

あとがき

この歳になると、あとどれだけの事が出来るのだろうかと考えてしまいます。そんな中、同級生が亡くなったことを知りました。なお、一層その思いが募ります。今、自分に言い聞かせている言葉は「さあ今から」です。報恩講は私にとっての最も大事な「さあ今から」です。



水引き草、きれいな赤い小さな穂状の花。好きな花の一つです。夏の盛りには咲くのですが今年も10月に入って、ようやく花が付きました。猛暑のせいでしょうか。自然が刻々と変わっていきますね。変わると言えば、娘が修学旅行に出掛けました。お小遣いは現金とペイペイに分けて、足りない時はペイペイで送金も出来るので少額で良いそう。便利と言えはそうなのですが、これも時代の変化ですね。



正願寺ホームページのQRコードです。

